

2001年度総会がバンコクで開かれました



バンコクでの総会。正面左 = 渡部代表、右 = 山田事務局長

2001年度総会は、2001年11月1日にタイのバンコクで開催されました。総会には、カンボジアでクメールシルクの復興をめざして活動を続けているクメール伝統織物研究所の森本喜久男氏も参加し、これまでの会の活動報告、会計報告、今後の活動方針、役員を選出などが行われました。総会のために、森本さんのご家族が用意してくださった心尽くしの熱帯のフルーツに舌鼓を打ちながら、なごやかに会は進行しました。

総会で報告された内容は、以下のとおりです。

まず、これまでの活動としては、桑の木基金の募金状況が報告され、また、恒例になっているクメール伝統織物の移動展が各地で行われ、小さいながらも着実に動員数も増えていることなどが報告されました。

また、昨年度に出版した『モンスーンアジアの村を歩く』が好評で、その印税をもとにして、カンボジアで桑

の木基金のプロジェクトを進めるワークショップにパソコン2台が寄贈されたことも報告されました。

会計報告の概要は、以下の通りです。

会計報告

収入

年会費 84,060円

『モンスーンアジアの村を歩く』印税寄付 519,500円

支出

コンピュータ寄贈 200,000円

その他の支出と収入の収支 66,885円

残高 336,675円

桑の木基金（別会計）

桑の木基金 預かり金 348,000円

桑の木基金 カンボジアへ送金済み 100,000円

プラニーさん（森本さんのお連れ合い）から熱帯のフルーツをいただく



また、今後の活動方針としては、桑の木基金の広報活動をかねたスクリーンセーバーの販売を行うとともに、引き続き、カンボジア伝統織物研究所展示と現地で生産された伝統織物のフェアトレード方式の販売を行うことなどが確認されました。

そして、最後に、カンボジア伝統織物研究所の森本喜久男氏から「伝統の森・再生計画」についての提案が行われました。この提案については、次頁で詳しくお伝えしています。